

## 第2回たかつき環境市民会議の結果あらまし

日 時：2002年12月14日(土)午後2:00～4:00

場 所：高槻市総合センター14階 C-1401

出席者：108名

- ・ 一般会員：83名
- ・ 企画委員：19名
- ・ 当日参加者：6名



会議の様子

### 内 容

プログラム内容は当初の予定とは異なり、以下のようになりました。

#### 1．開会(2:00～)

#### 2．これまでの経過について(2:05～2:25)

- ・ 資料に基づき、企画委員より、これまでの経過と今後の進め方について説明しました。
- ・ それに対して、一般会員から質問や意見が相次ぎ、急遽企画委員が集合して、相談し、当初予定していたプログラムを変更し、「全員で徹底的に意見交換」をすることにしました。

#### 3．全員で徹底的に意見交換(2:30～4:00)

- ・ 手を上げて3分間以内で発言というルールのもと、意見交換を行いました。
- ・ 途中、一般会員から企画委員が提案している「先行する10のグループ活動」について、個々の説明を聞きたいという意見があり、グループごとに2分以内で概要の説明を行いました。

### <おもな意見>

先行する10のグループの提案は、環境基本計画を踏まえて検討してきたか？

企画委員：踏まえて検討してきた。

環境基本計画では6本柱があるが、なぜ6本柱をもとにグループをつくらなかったのか？(6本柱：環境行動、生活環境、自然環境、都市環境、循環型社会、地球環境)

企画委員：当初は6本柱から検討したが、6本柱は計画の考え方であり、行動レベルではもっと具体的で、取り組みやすい提案を行った方が前に進むと考えた。

6本柱と10グループとの関係はどうなるのか？

企画委員：行動レベルの10グループが具体的に検討・実践していく中で、新しいグループが生まれたり、いくつかのグループが離合集散していき、そんな中で徐々に行動計画としての6本柱のようなものが見えてくると考えている。また、敢えて環境基本計画の6本柱と10グループの関係を結びつけることもできるが、1つのグループが多くの柱にまたがっている。

提案されている10のグループは偏っていたり、抜け落ちているような気がする。

企画委員：企画委員が世話をしながら立ち上げていけそうなもので10グループが構成されている。そういう意味では当然、抜け落ちており、それを一般会員の方々に提案していただき、できることを一緒に進めていきたい。

アンケート用紙に、追加の項目を申し出ていただく欄も設けている。

環境基本計画の6本柱に基づき、現状を踏まえて、優先順位をつけ、やるべきことを選び、それに着手していくことが普通ではないかと考えるが？

企画委員：「やるべきこと」という視点も必要かもしれないが、みんなが楽しく続けていくために「やりたいこと」を重視している。

同じようなことをめざしているが、入口やアプローチの方法が異なるだけである。

#### < 結果 >

- ・ アンケート用紙を提出してもらうこと。その際、今後の進め方について、次の3項目から選んでもらうことになった。

10程度のグループで進めていくこと

環境基本計画の6本柱をもとに進めていくこと

10グループと6本柱の関係について、納得いくまで話し合うこと

- ・ この会議の終了後、今後の対応について、臨時の企画会議を開催し、検討を行う。その会議には企画委員以外も自由に参加できる。

#### 4. 閉会 (4:00)

##### その他：臨時の企画会議 (4:00~5:00)

- ・ 閉会后、さらに議論を深め、今後の展開を考えるため、一般会員からも出席者を募り、臨時の企画会議を開催しました。
- ・ 出席者：27名 (企画委員18名、一般会員9名)

### <おもな意見>

10グループを取り下げ、6本柱で最初からスタートし直してほしい。

企画委員：「やるべきこと」という視点も必要かもしれないが、「やりたいこと」を重視している。市民の取り組みは行政や企業と異なり、基本的にボランティアで行動していくものであり、自らが主体的に楽しく関わらないと長続きしないと考えている。10を取り下げて、スタートし直すなど、とてもできることではない。

現状の10グループで抜け落ちているものは、「都市環境」の分野で、風土、伝承、心の癒し、バリアフリー、交通などである。

これらの取り組みを誰が世話していくのか。

「人に優しい交通」を世話したいという人が1人である。

### <結果>

- ・ 企画委員以外のメンバーも参加できる企画会議を実施する。
- ・ 6本柱ごとに課題を整理して、さらに、6本柱と10グループの関係を整理する。
- ・ 抜け落ちている「都市環境」の風土、伝承、心の癒し、バリアフリー、交通の中で、世話役を務めてもいいとっていただいた1項目「人に優しい交通」を加えた11グループで、再度、グループ参加の希望を聞く。
- ・ 今後、抜け落ちの項目を世話しようという申し出があれば、企画会議でグループとして追加するかどうかを検討する。

## 第2回たかつき環境市民会議・アンケート結果のあらまし

回答数：76名

### 1. 今後の市民会議の進め方について（1つに ）

アンケート票に設問はないが、当日その場で設定した質問項目

選択肢	人数
10グループ（+ ）で具体的に活動を始めていく	36
環境基本計画の6本柱に分かれて議論していく	24
市民会議の場で6本柱と10グループとの関係をもう一度検討	6
その他の意見	10

< 「その他の意見」の中のおもなもの >

- ・ 一般会員の意見を汲み上げる会議にしてほしい
- ・ 何かを始めようということであれば、企画委員がもっと引っ張っていけばよい
- ・ 企画委員は市民会議に確固たる意志、毅然とした態度で臨んでほしい
- ・ まず行動、身近な行動が成果となる
- ・ 行動の中からよいものが生まれる。議論だけでは市民は動かない

## 2. 参加を希望するグループ（いくつでも）

	合計	上記の「設問1」での回答者			
		のうち 25人回答	のうち 6人回答	のうち 3人回答	のうち 5人回答
1 里山	6	4	1		1
2 水	13	7	4		2
3 オジカマバツク	3	1			2
4 環境家計簿	6	5		1	
5 環境ガイド	4	3	1		
6 環境講座	7	5	2		
7 エコビレッジ	3	2			1
8 プレス	2	2			
9 ごみ減量	7	6		1	
10 エコ事業所活動	5	3	1		1
	56	38	9	2	7

## 3. 新しいグループの提案

- ・ 水中水力発電機の研究・実験
- ・ 道路問題
- ・ 交通問題
- ・ 健康と生活環境問題
- ・ 市街地の緑、景観
- ・ たばこのポイ捨て（禁止条例、禁止区域）
- ・ 雨水活用
- ・ 大気・空気
- ・ 歴史文化

## 4. 自由意見等

- ・ 具体的な活動からスタートした方が、環境ボランティア初心者にとってはとっつきやすい。
- ・ 理論より行動が大切。自信を持って10グループからスタートしましょう。
- ・ 6本柱と10グループは別のものではない。具体的に行動を起こしてみて、意識が変わるもので、実際に行動しないと前に進めない。
- ・ 企画会議での熱心な検討には敬意を表したい。
- ・ 各グループが集散離合、消滅・復活等を繰り返しているうちに、1つの型ができてくる。また、すべてが重要で、優先順位をつけられるものではなく、とりあえず活動に移ることが必要。
- ・ できるだけ多くの人に関心をもってもらうことが重要で、できるだけ入口を広く、易しくすることが大切。

- ・ 環境基本計画の6つの柱でグループを形成し、その中で優先順位を決めて取り組んでいきたい。
- ・ 今後の日程の明確化。最終的にどのようにまとめるか教えてほしい。
- ・ エコスタッフの提言から、今後具体的にどのように進めていくのが教えてほしい。
- ・ 環境基本計画の6本柱と10グループとの関係を整理してほしい。
- ・ 企画委員と一般会員との十分な情報交換が必要。
- ・ 企画委員と一般会員との役割分担ができていない。企画委員が会議を繰り返す前に、進め方に関わる意見を一般会員に問いかける必要があった。
- ・ もっとみんなの知識を深めるような取り組みが必要。
- ・ 言葉の使い方を統一した方がよい(フレーム、テーマ、柱、入口、グループ等)。
- ・ 「新・生物多様性国家戦略」を市民会議全体で情報共有化したい。